



水産情報速報版

2025. 11. 14. №1462
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行=指導部漁業振興課
<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. 伊豆漁協加藤組合長が受賞！ — 令和7年度静岡県農林水産業功労者表彰 —

静岡県と農林水産業の関係団体で組織する静岡県農林水産業振興会（会長：鈴木県知事）は、11月4日静岡県庁西館会議室において令和7年度静岡県農林水産業功労者表彰式を行い、個人の部の受賞者24人に表彰状が授与されました。

水産業部門3人の受賞者うち漁協系統関係者では、加藤紀久夫氏（伊豆漁協代表理事組合長）が、多年、水産業に従事し、地域漁業の発展に尽力するとともに、伊豆漁業協同組合代表理事組合長等を歴任し、地域漁業の振興に貢献した功績が認められ受賞されました。

ここに加藤様に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍をお祈りいたします。

2. 第74回全国漁港漁場大会を山口で開催 — (公社)全国漁港漁場協会主催 —

10月15日に下関市の海峡メッセ下関において、第74回全国漁港漁場大会が開催され、全国から関係者約1,350人が参加しました。

大会では、公益社団法人全国漁港漁場協会の田中郁也会長が主催者挨拶で「漁港・漁場・漁村・海岸整備、関連予算が必要である」とあいさつし、関連施策を実行していく重要性を訴えました。

その後、山本佐知子農林水産大臣政務官、鈴木俊一漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長、坂本雅信JF全漁連会長など来賓が祝辞を述べました。

議事に入り、議長に前田晋太郎山口県漁港漁場協会会長（下関市長）を選出。付議議案として提出された「令和8年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」に対する提案として、①海洋環境の変化に対応した基盤整備、藻場干渉対策、②漁港の生産・流通機能の強化、養殖拠点整備、③漁港・漁村・海岸の強靭化対策、長寿命化対策、④全国展開を加速するための海業振興策の充実という4項目を掲げ満場一致で採択されました。

なお、来年の第75回大会は、令和8年10月28日に東京にて開催予定となっています。

3. セーフティーネット構築事業第2四半期補填判定結果 — 燃油・飼料とも補填発動 —

令和7年度セーフティーネット構築事業の第2四半期（7～9月）補填判定結果が漁業用燃油で10月27日に、養殖用配合飼料で10月28日に一般社団法人漁業経営安定化推進協会から発表されました。

漁業用燃油ではOPECプラス産油国の増産、米国の関税政策、中東情勢の緊迫や米国によ

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

るイラク核施設への攻撃など様々な要因を受け、原油価格相場は乱高下を繰り返しており、第2四半期の平均原油価格が65,006.6円／kℓとなり、直近の7中5平均原油価格58,716.0円／kℓを上回ったことから、実質補填単価6,290円／kℓで補填の発動が確定し、19期連続での補填発動となりました。

養殖用配合飼料では配合飼料の原料となる魚粉の国際価格が一時期に比べ下がっています。昨年、主産地のペルーで原料となるカタクチイワシの資源量が潤沢で漁獲枠を拡大したことから、一昨年からの不漁からは脱しましたが、第2四半期の平均配合飼料価格が238,336.6円／トンだったのに対し、補填金の発動ラインとなる7中5平均配合飼料価格が205,449.0円／トンを上回り、32,880円／トンを補填単価として補填の発動が決定し、15期連続の補填発動となりました。

今後も燃油・配合飼料とも補填発動することが予想されるため、来年度以降本事業への加入を検討されている漁業者・養殖業者の方は、所属の漁協へご相談下さい。なお、本事業は年度途中の加入が出来ないため、加入出来るのは来年4月以降となりますので、あらかじめご了承下さい。（申込は3月末まで）

4. 桜えび秋漁初水揚げ！ — 由比港・大井川港合わせて約2.3トンの水揚げ —

11月4日夕方に2025年度桜えび秋漁が初出漁し、大井川沖を中心に操業した結果、由比港・大井川港に合わせて154.6杯（約2.3トン）が水揚げされました。

5日早朝に行われた初競りでの平均単価（速報値）は由比港で約5,591円/kg、大井川港で約5,057円/kgで、全体では5,434円/kgとなりました。今年の秋漁は12月24日までの操業予定となっています。

5. 自民党県連・農林水産対策連絡協議会への要望を実施！

去る10月23日午後、県庁本館4階の特別会議室において、自民党県連の農林水産対策連絡協議会（会長：和田篤夫県議、他県議14名参加）に本会会長及び県水産振興推進協議会の構成団体代表者らが出席し、施策要望として6月27日の漁協組合長会議で承認された「安全性確保のための漁港・港湾整備等について」、などを含む6項目の要望書及び「県漁連等水産団体が行う指導・委託事業に対する支援について」、などを含む5項目の水産予算編成の要望書を提出するとともに、黒潮大蛇行終息後の海況状況や、近年の温暖化に伴う高水温の影響による漁獲魚種の変化などについての意見交換等を行いました。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう